

北海道浮魚ニュース

平成25(2013)年度5号

2013年 6月 18日

北海道立総合研究機構水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ：http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

スルメイカ漁場一斉調査結果(道南太平洋海域)

6月中旬現在、太平洋側のスルメイカ北上群は道南太平洋にはまだ到達していないと思われる。

調査船北辰丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。なお、同じ航海中に行われた道東太平洋分の調査結果については浮魚ニュース第4号を参照下さい。

- ・調査期間：2013年6月10日～13日(道東太平洋調査と連続)
- ・調査海域：道南太平洋
- ・調査船：北辰丸(216t、イカ釣機6台装備)

1. 水温分布

今年と昨年水温分布及び漁獲調査の結果を、図1及び図2に示しました。

漁獲調査点3点の表面水温は12.7～14.6、同じく漁獲調査点3点の50m水深の水温は7.7～11.9で、いずれも昨年を上回りました。図中に等温線を示した海域全体の50m水深の水温は全体的に昨年より高く、渡島太平洋沿岸にやや水温の低い海域が見られたほかは、海域のほとんどで8以上となっていました。

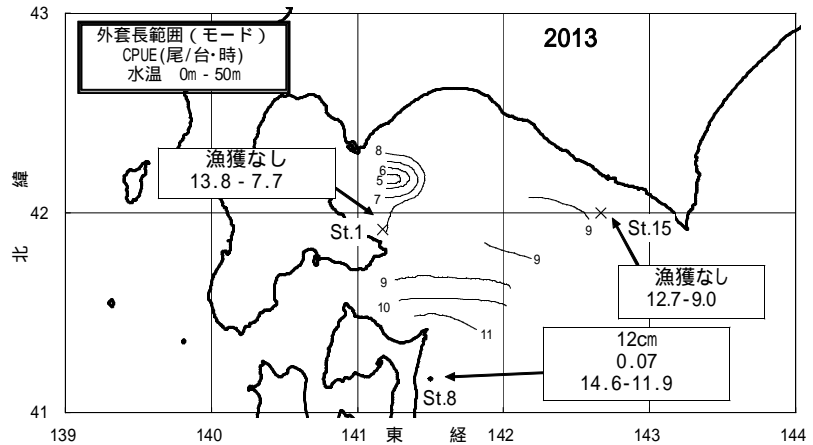


図1 2013年度の漁獲調査結果と水温(6月10～13日)

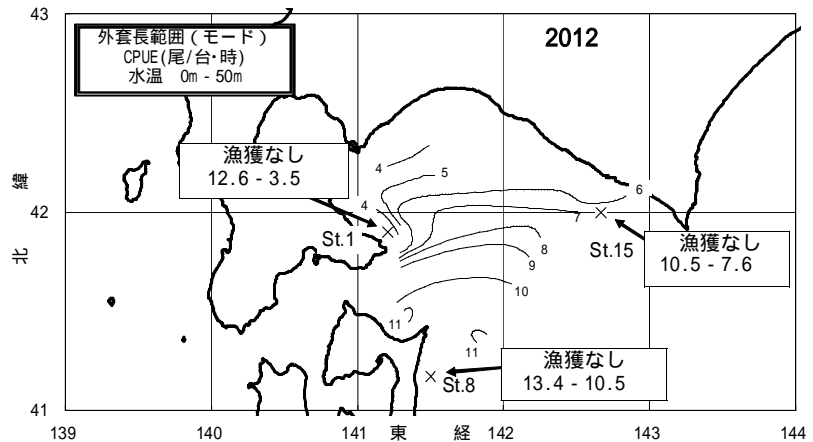


図2 2012年度の漁獲調査結果と水温(6月6～9日)

は漁獲調査点を示し面積はCPUEに比例。×は漁獲なし。
等温線は50m水深の水温分布

表 1 スルメイカ漁場一斉調査（道南太平洋 6 月）の CPUE と外套長の経年変化

2010 年より調査船及び調査日程を変更

CPUE(尾/台・時間)	2004 6/21-25	2005 6/20-24	2006 6/19-23	2007 6/25-29	2008 6/26-30	2009 6/24-26	2010 6/14-17	2011 6/14-17	2012 6/6-9	2013 6/10-13
St.1(木直沖)	4.3	0.1	0	10.5	62.0	0	0.03	0	0	0
St.8(下北半島東沖)	-	0	0.1	4.5	17.7	23.8	0.34	0.2	0	0.07
St.15(浦河沖)	16.9	0	0	18.1	0	-	0	0	0	0
St.16(函館沖)	-	3.9	6.1	24.2	3.6	-				
旧調査点4点平均CPUE	10.6	1.0	1.6	14.3	20.8	11.9	0.13	0.07	0	0.02
St.1, 8, 15平均CPUE	10.6	0.03	0.03	11.0	26.6	11.9	0.13	0.07	0	0.02
外套長の範囲(cm)	13-21	12-17	12-17	10-21	11-18	15-21	8-12	11-17	-	12
外套長E-D 範囲(cm)	18	14	15	16-17	14-15	18	8,11	12	-	12

2 . 分布密度及び魚体サイズ

2004 年から 2013 年までの 10 年間の調査点別 CPUE（2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）を表 1 に示しました。なお、2010 年以降の北辰丸による調査は、2002 ~ 2009 年の金星丸による調査に比べ 1 ~ 2 週間早い時期に行われています。

調査点 3 点の CPUE（釣機 1 台 1 時間あたり漁獲尾数）の平均は 0.02 で、昨年（0）に次いで過去 2 番目に低い値でした。今回の漁獲調査点 3 点のうち、漁獲が見られたのは青森県下北半島沖 St.8（CPUE0.07）のみで、6 月中旬現在、太平洋側のスルメイカ北上群は道南太平洋にはまだ到達していないと思われます。今後、2012 年に見られたような太平洋北上群の来遊の大幅な遅れが起きないか注視していく必要があると考えられます。

調査中漁獲されたスルメイカ 2 尾の外套背長はいずれも 12cm でした。